

ボランティア活動に感謝

柴田農林高校「白石川堤防天狗巣病枝剪除奉仕作業」

3月15日、柴田農林高等学校生徒により、大河原公園周辺の桜の天狗巣病枝剪除奉仕作業が行われました。

天狗巣病とは、カビの一種が原因で発生する伝染病で、発症した枝は花が咲かなくなり、最後には枯れてしまう病気です。放置すると徐々に蔓延するため、発症部分を切除する必要があります。

生徒たちは、先生から天狗巣病の見分け方等の説明を聞いたのち、剪定用高枝切りノコギリを上手く使い、時には木に登りながら、手際よく作業を行っていました。また、葦神堰周辺ではヨシ刈り作業も行われ、生徒たちのおかげできれいな河川敷になっていました。



▲協力しながら作業を行う生徒たち。

今後の商品化に期待

大河原産農産物を使った大河原フード試食会

2月28日、にぎわい交流施設にぎわいルームを会場に、大河原産農産物の6次産業化へ向けた取り組みの一環として、大河原産農産物を使用した料理の試食会が行われました。

今回の試作品は6品で、甘みのあるたまねぎをもちぶたでまいた「トンデリング」、ゆずがさっぱりとした「ゆずシャーベット」など、どれも素材を活かしたもので、試食した皆さんにも好評な出来栄えとなっていました。

試作品は今のところ販売の予定はありませんが、今後の6次産業化の進展が期待されます。



▲料理は大河原町生活研究グループの皆さんの手作りです。

レトロなお屋敷で雛まつり

佐藤屋でひなまつり

3月1日から3日までの3日間、町内の旧家に残る様々な雛人形を一堂に集めて展示する「佐藤屋でひなまつり（主催：佐藤屋プロジェクト）」が、国登録有形文化財佐藤屋邸で開催されました。

会場には、「御殿雛」や「古今雛」などの歴史あるものから現代の華やかなものまで、時代が感じられる雛人形が一堂に展示されました。現代でも色あせない雛人形の競艶に、来場者は興味津々に見入っていました。

期間中は町内にお住いの田畑登茂子さんの古布を使って制作した人形などの作品展やワークショップ、婦人会コーラスなどによる歌の披露や茶席なども設けられ、華やかで賑やかな雛まつりとなりました。



▲佐藤屋プロジェクトの説明員の話聞きながら観覧。

勇気を出して話そう

パクンマクンの笑劇的国際コミュニケーション教室

2月24日、えずこホールで「パクンマクンの笑劇的国際コミュニケーション教室」が開催されました。

この教室は、年々桜まつり期間中に多くの外国人観光客が訪れるようになってきていることから、外国人観光客と気軽に楽しく接することを目的として、大河原町・柴田町・白石川堤一目千本桜観光連携推進協議会が開催したものです。

日本人とアメリカ人の人気お笑いコンビ「パクンマクン」が軽微なコントを交えながら、コミュニケーションの大切さや外国人から見る地元の魅力などを講義したほか、「完璧な英語を話せなくても、知っている単語を並べるだけでOK！自信を持って英語を使いましょう」と参加者約500名に呼びかけました。



▲会場の全員が参加しての教室は終始笑いに包まれました。

みんなの力できれいなまちに

白石川河川清掃

一目千本桜を見物に訪れる皆さんを気持ちよく迎えるため、3月16日、白石川河川敷や大河原駅前周辺などで一斉清掃が行われました。

当日は、春を感じさせるようなおだやかな晴天に恵まれ、白石川沿いの各会場には町民ボランティアの方をはじめとした約700名の皆さんが集まりました。

参加者の皆さんは、捨てられた空き缶やペットボトルなどのゴミ拾い、落ち葉や枯れ枝集めなどを行いました。地域の皆さんが普段から清掃していることもあり、例年よりゴミは少なめでしたが、約1時間の作業で、各会場は見違えるようにきれいになりました。

参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。



尾形橋付近の右岸と左岸では、枯葉・枯草を集めるのにひと苦労。

心を込めた「おもてなし」

大河原小学校放課後子ども教室『お茶会 & 百人一首大会』

3月10日、金ヶ瀬公民館を会場に、大河原南小学校放課後子ども教室「お茶会 & 百人一首大会」が開催され、保護者をはじめ多くのかたが参加しました。

まず百人一首大会が行われ、決勝では延長戦も行われるなど、白熱した展開となりました。その後はお茶会が開かれ、子どもたち自らがお茶を点て、手作りの抹茶どら焼きもふるまわれました。参加者の皆さんは、その味のみならず、子どもたちの立派な姿に感心していました。



▲真剣なまなざしで百人一首に取り組む子どもたち。

すばらしい作品が勢揃い

町老人クラブ連合会「趣味の作品展」

3月2日、大河原町老人クラブ連合会による「趣味の作品展」がにぎわい交流施設（中央公民館）で開催されました。

会場には、各老人クラブの会員の皆さんが心を込めて作り上げた手芸や陶器、小物などの作品がところ狭しと並べられ、即売が行われました。開始時間前から、お気に入りの作品をいち早く買い求めようと、大勢の来場者で賑わいました。購入額により抽選や午後にはレクリエーション大会なども行われ、会場全体が活気に満ちあふれた一日となりました。



▲出品された作品を手に取り確かめる来場者。